お母さん

小川未明

青空文庫

正ちゃんは、目をさますと、もう朝でした。窓が明るくなって、どこかで雨戸を繰る音がしました。けれどそばに寝ている兄さんも、目をさまさなければ、またお母さんもお起きなさらぬようすです。

「きょうは、日曜日なんだ。」

いつもなら、みんなが、こうゆっくりしてはいられぬのでした。正ちゃんは、いつも日曜は、朝がおそいのを知っていました。それをうっかりして、いつもと同じような気になって、三人で、八時から釣りにいく約束をしたのでした。かならず、七時半に迎えにくると勇ちゃんがいったから、もう起きて、ご飯を食べなければなりませんでした。

「お母さんを起こそうかしらん。」と、考えていましたが、まず、兄さんにいってみようと、

「兄ちゃん、まだ起きない?」と、声をかけました。小さな声で、いったのだけれど、兄さんは、目をふさいでいても、いつも、いまごろ起きる習慣がついているので、半分さめていたとみえて、

「正二、きょうは日曜日だろう。お母さんをゆっくり寝かしておいてあげな。音をたてると、お母さんが、目をおさましになるよ。」

といいました。

なるほど、そうだった。いつも早く起きてくださるのだから、きょうは、お母さんをゆっくり寝かしてあげなければならぬと、正二にも思われたのでした。

「ああ、あんな約束をしなければよかった。これから、勇ちゃんの家へいって、断ってこようかしらん。」と、正ちゃんは、気がもめてなりませんでした。

「僕、釣りにいく約束をしたのだよ。」

「だれとかい。」と、兄の敏夫さんは、こちらへ向き直って聞きました。

「茂ちゃんと、勇ちゃんと三人で、八時にいくって。」と、正ちゃんが、いいました。

「いま何時だろうな。」と、敏夫さんが、いいました。

「もう六時過ぎだろう。」

「だけど、起こしては、お母さんに悪いじゃないか。」

「僕、勇ちゃんのところへいって、断ってくるよ。」

「もう、すこし待ってみな。」

「だって、勇ちゃんは、七時半にくるといったもの。」

正ちゃんは、独り、起きて、洋服に着かえると、二階から下りてきました。

すると、お母さんの姿が見えません。おへやは、もうちゃんときれいにかたづいていました。

「おや、お母さんは?」

正ちゃんは、お勝手もとへいってみました。ガスに火がついて、お汁のなべが、かかっていました。そこにもお母さんは、いらっしゃいません。

「お母さんは、どこへいったろうな。」

このとき、お母さんは、外から、お豆腐をいれた入れ物を持って、帰っていらっしゃいました。

「すぐに、ご飯にしてあげますよ。」と、おっしゃいました。

「うん、お母さんは、早いね。」と、正ちゃんが、いいました。

「だって、あんたが、釣りにいくんでしょう。」と、お母さんはお

つしゃいました。

「どうして、わかったの？　勇ちゃんが、迎えにきた？」と、正ちゃんは、驚いて、ききました。

「いいえ、だれもきませんよ。お母さんには、なんでも、あんたのすることはわかるのです。」

「お母さんは、えらいなあ。」と、正ちゃんは、お母さんの顔を見上げました。

「えらいでしょう。だから、うそをいっても、お母さんには、すぐわかりますよ。」

「僕、うそなんかいわないよ。」

「だから、お母さんは、こうして、正ちゃんの思うようにしてあげるのです。」

まだ年のいかない正ちゃんは、おとなしくご飯をいただいていました。

お母さんは、昨夜、物置の前に、釣りざおが一本立てかけてあり、その下に、小さなバケツとみみず箱が、置いてあるのをごらんになって、

「おお、ちゃんと用意がしてあること。」と、なんとなくいじらしいような気がして、お笑いになったのでした。それで、きょうは日曜日だけれど、早く出かけるものと思って、いつもと同じように、お起きなされたのであります。

正ちゃんは、日ごろ、やさしい、いいお母さんだと思っています。しかし、いつになったら、このお母さんの愛が、ほんとうにもっと深くわかるでありましょうか。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　12」講談社
　　1977（昭和52）年10月10日第1刷発行
　　1982（昭和57）年9月10日第5刷発行
底本の親本：「日本の子供」文昭社
　　1938（昭和13）年12月
初出：「教育行童話研究」
　　1938（昭和13）年5月
※表題は底本では、「お母《かあ》さん」となっています。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：酒井裕二
2016年9月21日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

お母さん

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/